



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日

上場会社名 スターツコーポレーション株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8850 URL <http://www.starts.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 磯崎 一雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 村松 久行 TEL 03- 6202- 0111
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	143,248	2.1	15,463	△0.2	15,507	△0.8	10,464	△0.5
2020年3月期第3四半期	140,242	△0.6	15,500	△3.1	15,635	△4.9	10,517	0.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 11,504百万円 (1.1%) 2020年3月期第3四半期 11,377百万円 (8.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	198.73	—
2020年3月期第3四半期	199.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	258,556	114,661	43.8	2,151.72
2020年3月期	248,029	106,402	42.3	1,995.04

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 113,301百万円 2020年3月期 104,953百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	35.00	—	30.00	65.00
2021年3月期	—	30.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	193,000	△7.7	18,500	△22.6	18,500	△23.3	11,500	△23.6	218.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	53,998,205株	2020年3月期	53,998,205株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,341,755株	2020年3月期	1,390,761株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	52,656,450株	2020年3月期3Q	52,607,455株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 8「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	9
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	11
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	11
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	12
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	15
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	15
(セグメント情報等)	16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症が個人消費や企業活動へ大きく影響し、極めて厳しい状況となりました。緊急事態宣言の全面解除以降、経済活動の再開により、景気を持ち直しが見られたものの、新型コロナウイルス感染症収束の兆しは見え、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

こうした中、当社企業グループにおきましては、『土地有効活用』・『不動産仲介』・『不動産管理』を基盤とした『ストックビジネス』を地域密着でさらに拡充させ、『ワンストップ』でお客様にサービスをご提供するとともに、グループ各社でお取引のある法人との取引基盤の拡大も図りながら、景気に左右されない安定収益基盤づくりに努めてまいりました。

その結果、当社グループの安定収益基盤となります不動産管理物件数は、2020年12月末現在、アパート・マンション管理戸数136,763戸、月極駐車場台数93,670台、時間貸駐車場「ナビパーク」の運営は47,522台、企業の社宅管理代行業におきましては住宅97,911戸、駐車場14,441台（受託企業数391社）を受託、これに分譲マンション管理戸数3,790戸、24時間緊急対応サービス「アクセス24」受託戸数476,197戸を加えますと、**住宅714,661戸、駐車場155,633台**となり、**ビル・施設管理件数は2,307件**となっております。

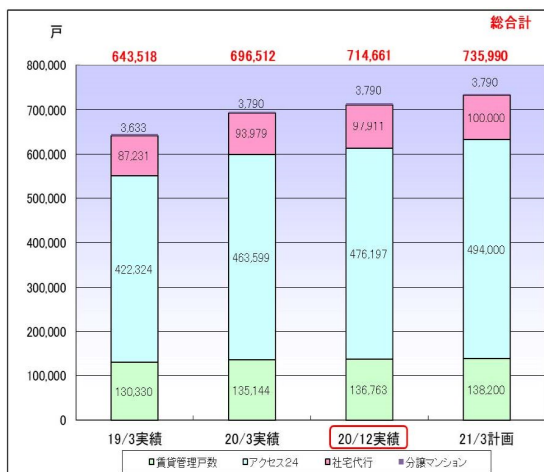
不動産営業店舗「ピタットハウス」は、2020年12月末現在で**全国642店舗のネットワーク**（スターツグループ店118店舗、ネットワーク店524店舗）となっております。また、高齢者支援・保育施設につきましては、2020年12月末現在**110事業所**を運営しており、首都圏・関西エリアにおきまして5事業所の開設準備を進めております。

海外拠点におきましては、2020年12月末現在で**世界21カ国、36都市**において、海外進出を図る日本企業のオフィスや駐在員の社宅の仲介、工場等の売買仲介、レンタルオフィス・サービスアパートメント・ホテルの運営等、各国のニーズに合わせたサービスの提供を行っております。

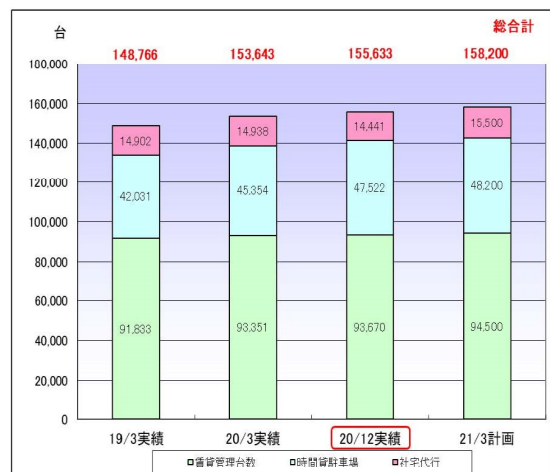
当第3四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症拡大により賃貸仲介事業・売買仲介事業におきましては外出自粛等の影響を受け店舗来店数・成約件数が減少、不動産管理事業におきましては時間貸駐車場の利用が減少いたしました。ホテル・レジャー事業におきましても各種政策により一時的に需要が回復したものの、感染者数増加に伴い再び観光需要が減少いたしました。

こうした中、建設事業におきましては新型コロナウイルス感染予防に努めながら工事進捗が順調に推移したことにより完成工事高は増加し、分譲不動産事業におきましては「スターツプロシード投資法人」へ賃貸住宅3棟の譲渡を行いました。高齢者支援・保育事業におきましては各事業所の稼働が順調に推移、コンサルティング事業におきましてもリモートによる非対面営業を推進いたしました結果、売上高は1,432億48百万円（前年同期比2.1%増加）、営業利益は154億63百万円（前年同期比0.2%減少）、経常利益は155億7百万円（前年同期比0.8%減少）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は104億64百万円（前年同期比0.5%減少）となりました。

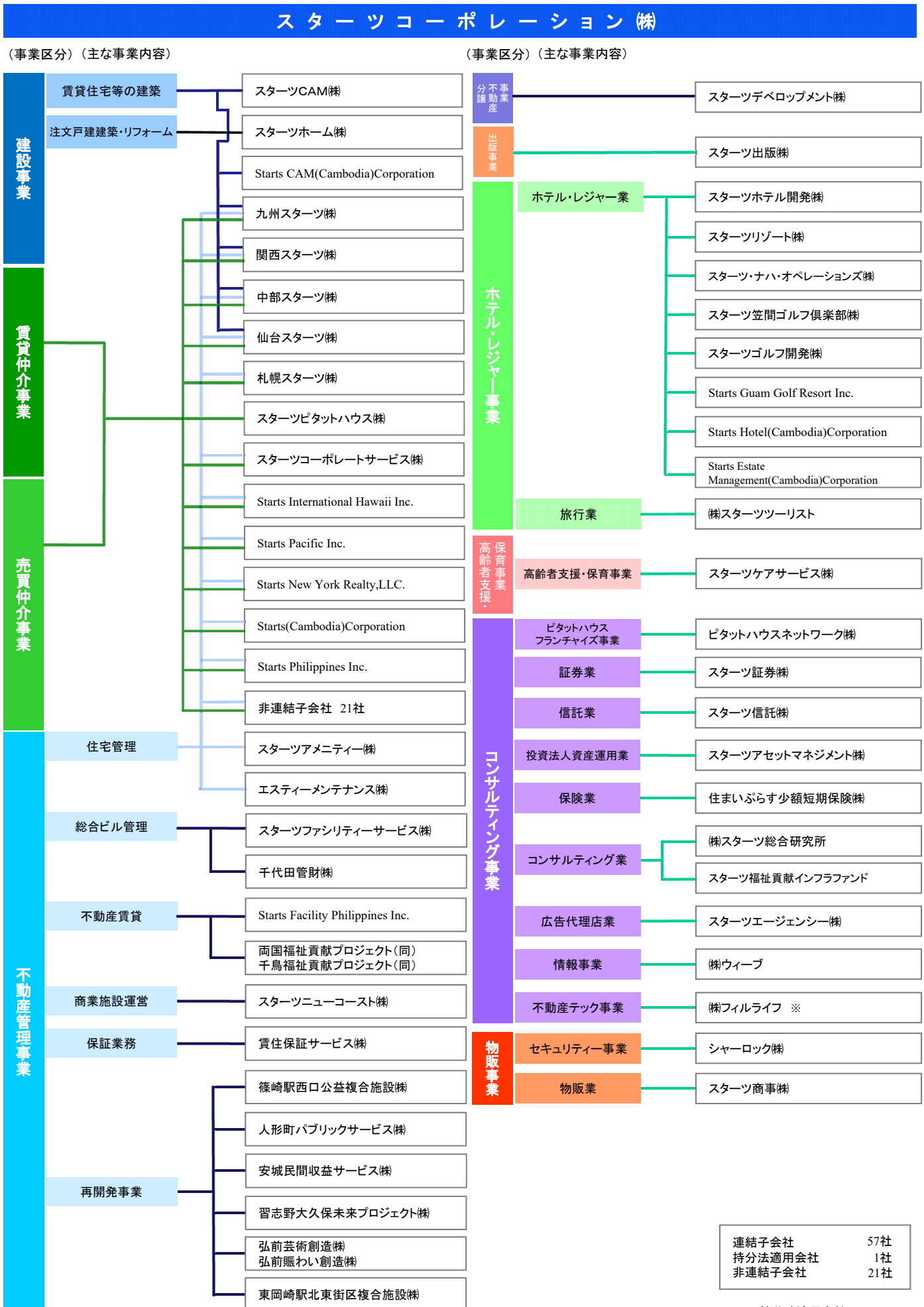
■住宅管理戸数の推移



■駐車場管理台数の推移

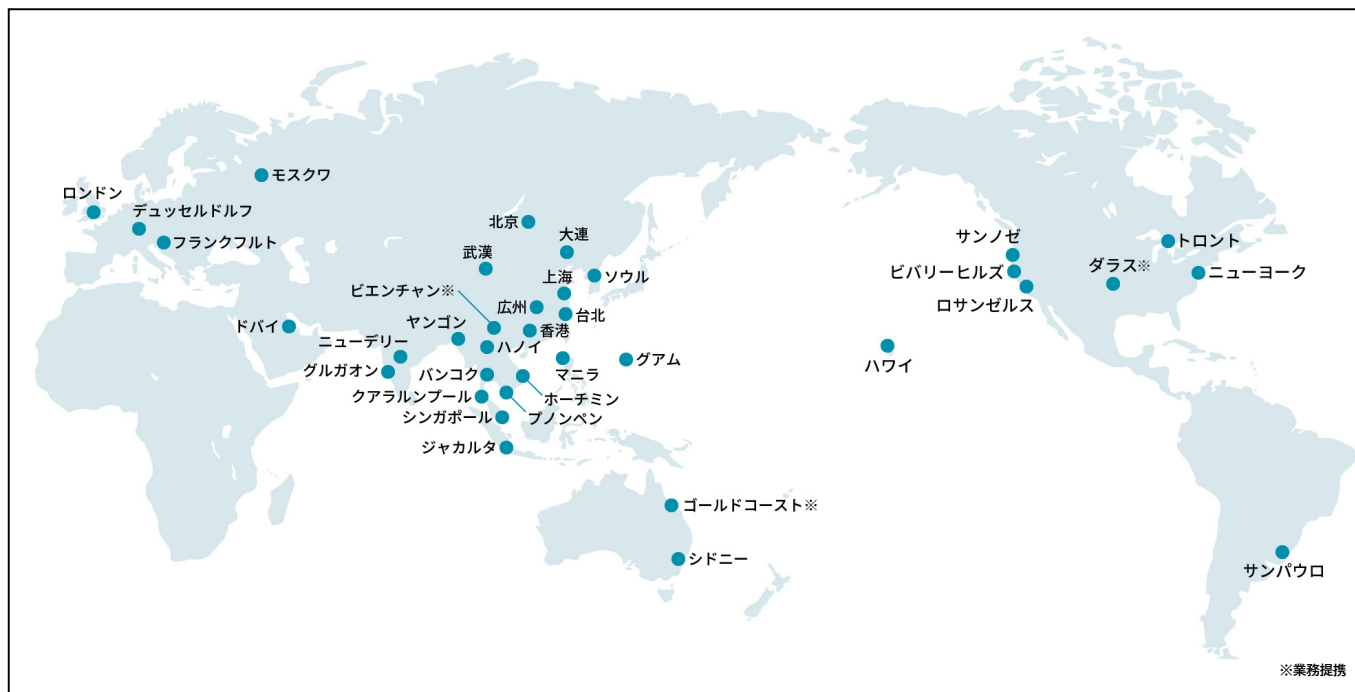


【当社グループ図】



■スターツ海外ネットワーク／21カ国(※) 36都市

(※)国と地域を含む



〈海外現地法人〉

アジア 12ヶ国19都市	北米・中南米 3ヶ国8都市
Starts Real Estate Consultants (shanghai) Co.,Ltd. (中国・上海、北京)	Starts Pacific Inc. (アメリカ・ロサンゼルス、サンノゼ、ビバリーヒルズ) ※1
Starts (Guangzhou) Consulting Service Co., Ltd. (中国・広州)	Starts New York Realty LLC. (アメリカ・ニューヨーク) ※1
Starts (Wuhan) Consulting Service Ltd. (中国・武漢)	Starts International Hawaii Inc. (アメリカ・ハワイ) ※1
Starts Real Estate Consultants (Dalian) Co.,Ltd. (中国・大連)	Starts Guam Golf Resort Inc (アメリカ・グアム) ※1
台湾世達志不動産顧問(股) (台湾・台北)	Starts Realty Canada Inc (カナダ・トロント)
Starts Hong Kong Co.,Ltd. (中国・香港)	Starts Brasil Real Estate Ltd. (ブラジル・サンパウロ)
Starts International Korea Co.,Ltd. (韓国・ソウル)	ヨーロッパ・中東 4ヶ国5都市
Starts Philippines Inc. (フィリピン・マニラ) ※1	Starts Deutschland GmbH. (ドイツ・デュッセルドルフ、フランクフルト)
Starts Facility Philippines Inc. (フィリピン・マニラ) ※1	Starts London Limited (イギリス・ロンドン)
Starts International Vietnam.Co.,Ltd. (ベトナム・ハノイ、ホーチミン)	Starts Russia,Ltd. (ロシア・モスクワ)
Starts International(Thailand) Co.,Ltd. (タイ・バンコク)	Siu Real Estate Brokers L.L.C (アラブ首長国連邦・ドバイ)
Myanmar Starts Corporate Services Co.,Ltd. (ミャンマー・ヤンゴン)	オセアニア 1ヶ国1都市
Starts (Cambodia) Corporation (カンボジア・プノンペン) ※1	Starts International Australia Pty.Ltd. (オーストラリア・シドニー)
Starts Estate Management (Cambodia) Corporation (カンボジア・プノンペン) ※1	
Starts Hotel (Cambodia) Corporation (カンボジア・プノンペン) ※1	
Starts CAM (Cambodia) Corporation (カンボジア・プノンペン) ※1	
Starts International Malaysia Sdn. Bhd. (マレーシア・クアラルンプール)	
Starts Singapore Pte.Ltd. (シンガポール)	
Pt.Starts International Indonesia (インドネシア・ジャカルタ)	
Starts India Private Ltd. (インド・ニューデリー、グルガオン)	

※1 連結子会社

<セグメント別の概況>

事業種類別セグメントごとの業績の概況は以下のとおりであります。

(i) 建設事業

建設事業におきましては、資産運用及び資産継承のコンサルティングとして創業から変わらぬ地域密着営業を行っており、賃貸住宅をはじめ商業ビル・ホテル・高齢者支援施設・保育施設・物流倉庫などグループ総合力を活かした豊富なコンテンツによる土地有効活用の提案を行っております。

社会インフラとして普及に注力しております『免震構造の建物』におきましては、地域特性を踏まえ『土地・所有者・入居者』すべてに最適な土地活用を提案してまいりました結果、累計受注棟数は2020年12月末現在では520棟となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染予防に努めながら順調に工事を進めてまいりました結果、売上高455億15百万円（前年同期比23.5%増）、営業利益63億94百万円（前年同期比40.9%増）、受注残高は1,027億83百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

■ 建設事業受注状況及び完成工事高実績

(単位：百万円)

	種別	前期繰越高	当期受注高	計	完成工事高	次期繰越高		当期施工高
						手持高	うち施工高	
前第3四半期連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年12月31日	一般住宅	2,708	1,631	4,340	1,822	2,517	14	1,822
	賃貸住宅	78,751	24,192	102,943	27,175	75,767	620	27,094
	その他	15,344	12,378	27,722	7,868	19,854	258	7,502
	計	96,804	38,201	135,006	36,866	98,139	893	36,418
当第3四半期連結累計期間 自 2020年4月1日 至 2020年12月31日	一般住宅	2,600	1,456	4,057	1,850	2,207	11	1,843
	賃貸住宅	81,989	28,622	110,611	30,995	79,615	731	31,108
	その他	20,565	13,064	33,630	12,669	20,960	1,159	13,274
	計	105,156	43,142	148,299	45,515	102,783	1,902	46,225

(ii) 賃貸仲介事業

賃貸仲介事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大により新規来店数・成約件数が減少いたしました。また、物件案内から契約に至るまでリモートによる非対面での営業を推進してまいりました。また、広告宣伝費の見直しや店舗営業時間短縮に伴う運営経費が減少いたしました結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高41億96百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益9億42百万円（前年同期比30.7%増）となりました。

(iii) 売買仲介事業

売買仲介事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大により対面営業の制約等の影響を受けてまいりましたが、リモートでの物件紹介や不動産ウェブセミナーを行ってまいりました。当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高34億65百万円（前年同期比14.4%減）、営業利益7億31百万円（前年同期比27.3%減）となりました。

(iv) 不動産管理事業

不動産管理事業におきましては、住宅を中心とした管理手数料売上は管理物件数の増加に伴い堅調に推移いたしました。メンテナンス売上及び賃貸事業売上におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大により、営繕工事の受注や時間貸駐車場「ナビパーク」の利用が減少いたしました結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高642億25百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益73億98百万円（前年同期比7.8%減）となりました。

■不動産管理事業売上実績

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年12月31日	当第3四半期連結累計期間 自 2020年4月1日 至 2020年12月31日
	金額	金額
管理手数料売上	7,132	7,638
メンテナンス売上	19,023	17,867
賃貸事業売上	37,604	38,718
合計	63,760	64,225

(v) 分譲不動産事業

分譲不動産事業におきましては、「スターツプロシード投資法人」へ賃貸住宅3棟を譲渡いたしました。また、総戸数88戸の大規模戸建分譲であります「QUWON GARDEN (クオンガーデン) 新浦安」(千葉県浦安市)の販売も堅調に推移いたしました結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高82億51百万円(前年同期比6.2%減)、営業利益3億15百万円(前年同期営業損失3億68百万円)となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における契約残高は、13戸10億16百万円となりました。

■分譲不動産契約状況

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年12月31日				当第3四半期連結累計期間 自 2020年4月1日 至 2020年12月31日			
	契約高		契約残高		契約高		契約残高	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
戸建住宅	32	2,361	18	1,445	34	2,901	8	747
マンション分譲	17	1,129	197	8,789	17	1,193	4	265
賃貸住宅	1	770	—	—	3	3,093	—	—
土地	2	23	—	—	3	8	—	—
その他	2	5,640	—	—	2	13	1	3
その他収入	—	64	—	—	—	5	—	—
合計	54	9,988	215	10,234	59	7,215	13	1,016

■分譲不動産販売状況

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自 2020年4月1日 至 2020年12月31日	
	数量	金額	数量	金額
戸建住宅	19	1,291	33	2,837
マンション分譲	15	1,012	13	927
賃貸住宅	1	770	3	3,093
土地	2	23	3	8
その他	2	5,640	3	1,379
その他収入	—	64	—	5
合計	39	8,801	55	8,251

(vi) 出版事業

出版事業におきましては、新レーベルの創刊などにより出版物の発行点数が増加、電子・紙媒体ともに書籍販売が堅調に推移しております。一方で、350万人を超える会員を有する女性向けウェブサイト「オズモール」の成功報酬型送客サービス「オズのプレミアム予約」では新型コロナウイルス感染症拡大による掲載店舗の休業及び営業時間の短縮等により、送客実績が大きく減少いたしました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高26億73百万円（前年同期比17.4%減）、営業損失1億73百万円（前年同期営業利益3億31百万円）となりました。

(vii) ホテル・レジャー事業

ホテル・レジャー事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による甚大な影響を受け需要が急激に低下いたしました。Go Toトラベルキャンペーン等、各種政策により需要が一時的に回復いたしました。感染者数の増加に伴い同キャンペーンの一時停止や外出自粛等により、今後も需要の低下が見込まれます。

各施設におきましては感染予防対策を徹底し運営を行ってまいりました結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高27億97百万円（前年同期比63.5%減）、営業損失15億1百万円（前年同期営業利益6億73百万円）となりました。

(viii) 高齢者支援・保育事業

高齢者支援・保育事業におきましては、新たにグループホーム「きらら神戸兵庫町」（兵庫県神戸市）など5事業所を開設、人材採用・育成活動にも積極的に取り組みながら、各事業所におきましては感染予防対策を徹底し運営を行ってまいりました結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高72億3百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益4億75百万円（前年同期比26.6%増）となりました。

(ix) コンサルティング事業

コンサルティング事業におきましては、スターツプロシード投資法人の運用委託に係る報酬、不動産管理信託報酬、少額短期保険契約件数が堅調に推移しております。対面営業の制約を受ける中、リモートによる非対面での営業活動を推進いたしました結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高42億19百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益9億80百万円（前年同期比43.2%増）となりました。

(x) 物販事業

物販事業におきましては、カードキーシステム「シャーロック」シリーズの製造・販売、コンビニエンスストアの運営を行っております。新型コロナウイルス感染症拡大による営業活動の自粛やテレワークの推進によりコンビニエンスストアの来店客数が減少いたしました結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高6億98百万円（前年同期比23.5%減）、営業利益1億円（前年同期比27.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産に関する分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産額は2,585億56百万円となり、前連結会計年度末と比較し105億26百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金の増加及び有形固定資産の取得による増加であります。

負債総額は1,438億94百万円となり、前連結会計年度末と比較し22億67百万円増加いたしました。これは、主に短期借入金及び長期借入金の増加によるものであります。

純資産額は1,146億61百万円となり、前連結会計年度末と比較し82億59百万円増加いたしました。これは、主に利益剰余金の増加によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比べて125億15百万円の資金を獲得し、666億54百万円の残高となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、建設工事代金支払等、仕入債務の減少45億55百万円の一一方で、税金等調整前四半期純利益153億41百万円、減価償却費35億56百万円、たな卸資産の売却47億78百万円、売上債権の回収12億74百万円等により182億65百万円の資金を獲得（前年同四半期は76億17百万円の資金を獲得）いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、「ホテル エミオン 京都」の建設、「札幌駅北口8・1地区第一種市街地再開発事業」におけるホテル用地の取得等により95億1百万円の資金を使用（前年同四半期は61億14百万円の資金を使用）いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、剰余金の配当等による支出の一方で、運転資金及びプロジェクト資金等の銀行借入により38億65百万円の資金を獲得（前年同四半期は35億83百万円の資金を獲得）いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年11月10日に公表いたしました「第2四半期業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	60,036	73,091
受取手形及び売掛金	12,936	11,661
販売用不動産	19,979	15,460
仕掛販売用不動産	8,422	7,423
未成工事支出金	1,492	2,240
その他	9,317	9,761
貸倒引当金	△139	△163
流動資産合計	112,046	119,474
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	35,800	40,913
土地	65,288	67,382
その他(純額)	10,358	5,912
有形固定資産合計	111,446	114,209
無形固定資産		
のれん	1,400	1,233
その他	1,493	1,580
無形固定資産合計	2,893	2,814
投資その他の資産		
投資有価証券	10,587	11,944
繰延税金資産	3,135	2,149
その他	8,263	8,304
貸倒引当金	△344	△339
投資その他の資産合計	21,642	22,059
固定資産合計	135,983	139,082
資産合計	248,029	258,556

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金及び工事未払金	20,039	12,854
短期借入金	6,381	12,819
1年内返済予定の長期借入金	15,041	14,740
未払法人税等	3,788	1,079
賞与引当金	2,612	1,519
未成工事受入金	9,593	8,478
その他	20,359	27,444
流動負債合計	77,816	78,935
固定負債		
長期借入金	49,932	50,808
役員退職慰労引当金	878	882
完成工事補償引当金	1,057	1,016
賃貸事業損失引当金	499	492
再評価に係る繰延税金負債	573	573
退職給付に係る負債	1,740	1,583
資産除去債務	1,238	1,660
その他	7,891	7,941
固定負債合計	63,810	64,958
負債合計	141,627	143,894
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,039	11,039
資本剰余金	6,232	6,232
利益剰余金	86,054	93,362
自己株式	△431	△431
株主資本合計	102,894	110,202
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,008	2,713
土地再評価差額金	1,253	1,253
為替換算調整勘定	36	40
退職給付に係る調整累計額	△1,240	△908
その他の包括利益累計額合計	2,059	3,099
非支配株主持分	1,448	1,359
純資産合計	106,402	114,661
負債純資産合計	248,029	258,556

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	140,242	143,248
売上原価	98,090	103,054
売上総利益	42,152	40,193
販売費及び一般管理費	26,651	24,730
営業利益	15,500	15,463
営業外収益		
受取利息	38	16
受取配当金	210	219
助成金収入	14	286
その他	304	285
営業外収益合計	568	807
営業外費用		
支払利息	226	198
為替差損	105	463
その他	101	101
営業外費用合計	433	764
経常利益	15,635	15,507
特別利益		
固定資産売却益	22	9
投資有価証券売却益	0	1
特別利益合計	23	11
特別損失		
固定資産売却損	—	9
固定資産除却損	146	166
その他	3	0
特別損失合計	149	176
税金等調整前四半期純利益	15,509	15,341
法人税、住民税及び事業税	4,305	4,694
法人税等調整額	598	183
法人税等合計	4,903	4,878
四半期純利益	10,605	10,463
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	88	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,517	10,464

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	10,605	10,463
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	578	703
為替換算調整勘定	△117	4
退職給付に係る調整額	311	333
その他の包括利益合計	772	1,040
四半期包括利益	11,377	11,504
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,283	11,504
非支配株主に係る四半期包括利益	94	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,509	15,341
減価償却費	3,419	3,556
有形固定資産除売却損益 (△は益)	123	166
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△15	19
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,355	△1,093
退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少)	△162	△156
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△96	3
受取利息及び受取配当金	△249	△236
支払利息	226	198
為替差損益 (△は益)	105	463
売上債権の増減額 (△は増加)	423	1,274
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△274	4,778
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,269	△4,555
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	1,327	△1,115
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△38	△601
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	2,133	7,046
その他	606	760
小計	16,414	25,850
利息及び配当金の受取額	250	239
利息の支払額	△230	△202
法人税等の支払額	△8,818	△7,622
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,617	18,265
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△378	△625
定期預金の払戻による収入	181	9
有形固定資産の取得による支出	△5,397	△8,327
有形固定資産の売却による収入	23	66
無形固定資産の取得による支出	△479	△514
投資有価証券の取得による支出	△300	△2
投資有価証券の売却による収入	453	9
貸付けによる支出	△37	△46
貸付金の回収による収入	5	56
関係会社株式の取得による支出	△62	△30
その他	△122	△96
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,114	△9,501

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	7,550	6,438
長期借入れによる収入	13,341	13,840
長期借入金の返済による支出	△13,563	△13,265
配当金の支払額	△3,712	△3,096
非支配株主への配当金の支払額	△30	△50
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,583	3,865
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△39	△113
現金及び現金同等物の期首残高	41,174	54,138
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,221	66,654

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建設事業	賃貸仲介 事業	売買仲介 事業	不動産管理 事業	分譲不動産 事業	出版事業	ホテル・ レジャー事業
売上高							
外部顧客への売上高	36,866	4,255	4,049	63,760	8,801	3,236	7,665
セグメント間の内部売上高又は 振替高	10,083	1,229	26	2,202	2	306	590
計	46,950	5,485	4,075	65,962	8,804	3,542	8,256
セグメント利益又は損失(△)	4,539	721	1,005	8,020	△368	331	673

	高齢者支援 ・保育事業	コンサル ティング事業	物販事業	計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	6,594	4,100	912	140,242	—	140,242
セグメント間の内部売上高又は 振替高	0	2,815	3,357	20,615	△20,615	—
計	6,594	6,916	4,270	160,858	△20,615	140,242
セグメント利益又は損失(△)	375	685	138	16,121	△620	15,500

(注) 1.セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2.セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建設事業	賃貸仲介 事業	売買仲介 事業	不動産管理 事業	分譲不動産 事業	出版事業	ホテル・ レジャー事業
売上高							
外部顧客への売上高	45,515	4,196	3,465	64,225	8,251	2,673	2,797
セグメント間の内部売上高又は 振替高	2,366	1,217	47	1,715	3	237	93
計	47,882	5,414	3,512	65,941	8,255	2,911	2,891
セグメント利益又は損失(△)	6,394	942	731	7,398	315	△173	△1,501

	高齢者支援 ・保育事業	コンサル ティング事業	物販事業	計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	7,203	4,219	698	143,248	—	143,248
セグメント間の内部売上高又は 振替高	0	2,918	3,499	12,100	△12,100	—
計	7,204	7,137	4,197	155,348	△12,100	143,248
セグメント利益又は損失(△)	475	980	100	15,664	△201	15,463

(注) 1.セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2.セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。